



SINRAI PROJECT  
April 2017

# SINRAI PROJECT JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト

ニュースター第 10 号  
2017 年 4 月



★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★

主な内容 (次項)

## モンゴル国立大学国際学部の学生 を対象にしたセミナーが行われました。

3月29日、モンゴル国立大学国際学部の学生を対象にした講義を行いました。モンゴル国立大学 5 号館の講堂には 70 名を超える学生が参加してくださいました。講義では、貯蓄と社会保険の違い、国の更なる経済発展のためには社会保障制度を利用した中間所得者層も創出することが重要であることを主にお伝えしました。学生からは、「社会保険の意義や重要性について初めて考える機会となった」「モンゴルの年金制度をより現状にあったものにする

ためには、日本の制度を参考にするのは良いことだ」、「現在人口の多くを占める若い世代が将来高齢者になるのは明らかであり、今から、何をすべきか考える必要があると思った」等の感

講義開催に際する大学側からの挨拶



←学生の様子

想が寄せられました。また、講義のあと、バトトルガ・モンゴル国立大

学国際学部長と面会をしました(写真下)。海外の政策研究にも力を入れたいとのことでした。こちらからは、今回の講義開催に協力いただいたことに感謝を述べるとともに、今後、可能な協力について模索していくことで一致しました。

## テレビ番組を通じた啓発活動

年金の重要性だけでなく、日本の年金の歴史や制度、意義をお伝えし、皆さまにモンゴルの将来について考えてもらうテレビ番組の収録が始まりました。多くの方にご覧いただけますよう、わかりやすい内容となっています。放映予定については公式フェイスブックページにてお知らせいたします。



## 連載「草原の国の社会保障」

モンゴルにおける社会保険の実情や、本プロジェクトを通して伝えたい事などを掲載いたします。今回は、「年金積立金」についてです。(写真：医療・社会保険庁から届いた日モンゴル国交樹立 45 周年に関する挨拶状表紙)



## モンゴル日本センター：市民講座の開催

日モンゴル国交樹立 45 周年記念事業として、市民講座：「モンゴルにおける社会保障の充実と経済成長の同時実現 ～日本の例を参考に～」というセミナーを開催しました。(写真：モンゴル日本センター・エントランスの桜)



## 草原の国の社会保障（第 10 話） 「年金積立金」

皆さま、こんにちは。

高齢者に給付する毎月の年金の財源のすべてを、現役世代の保険料で賄っている場合、基本的に年金積立金は不要です。ところが、このような方法だと高齢化が進むに連れて、保険料を引き上げていく必要があり、保険料を支払う現役世代や企業の負担が重くなります。こうした事態を防ぐため、年金制度を持つ各国では、ある程度の年金積立金を有しながら、保険料収入と年金積立金の運用収入でもって、年金給付とのバランスをとっています。

特に、年金制度創設時には、保険料を支払う現役世代の方が多いため、年金積立金が確実に増えていきます。そして、経済の発展に合わせて、年金積立金を適切に管理・運用することで、将来の保険料の大幅増加を抑えることができます。そこで、日本の年金積立金の歴史をお伝えします。

日本の年金積立金は、日本の経済成長とともに歩んできました。第二次世界大戦後、資金がなかった日本政府は、年金積立金から資金を借り入れ、日本の経済復興に活用しました。製鉄所の建設、発電所の整備、大規模工場団地の造成など、その後の高度経済成長の基礎となる産業基盤の整備に年金積立金の資金が活躍します。高度経済成長期には、産業基盤だけでなく、農村部から移住した労働者用の高層住宅の建設、上下水道の整備、ごみ処理場の建設、高速道路の建設、奨学金や個人が購入する住宅の支援などにも資金が投入されるようになりました。こうしたことを通じて、日本の経済は、農業中心から工業中

心に変わりました。就業者も農業から工業へシフトし、保険料を支払う勤労者が大幅に増えただけでなく、産業が高度化していくことで、勤労者の給与額も増えていったのです。

年金積立金は、それ自体の投資収益だけでなく、日本経済を大きく拡大させることによって、毎年の保険料収入の大幅拡大にも役立ったといえます。1950 年には 4.9%だった 65 歳以上の高齢化率も、1975 年には 7.9%となりました。日本の経済成長に、年金積立金が大いに役立ったことで、高齢化社会の到来に間に合うことができたといえるでしょう。人口が若い当時から、将来の高齢化を危惧し、こうした長期の政策を考え、そして着実に実行に移してきた結果なのです。

チーフアドバイザー 山下 護

### 年金数理班：モンゴルで年金基金年次報告書案を作成するとしたら・・・

年金数理班がこれまでの年金数理研修を活かし、自分たちで「もし、モンゴルで年金の今後の見通しやこれまでの年金基金の様子について国民へ報告するとしたら、どのような内容を盛り込む必要があるか？」について考え、日本人専門家と相談しながら作成・準備をした「モンゴルの年金基金年次会計報告書」案の発表を医療・社会保険庁でのウィークリーミーティング研修会において行いました。（↓年金数理班からの発表の様子）



## 日モンゴル国交樹立 45 周年記念事業「第 73 回市民講座」



3 月 25 日、モンゴル日本人材開発センター第 73 回市民講座において、「モンゴル



における社会保障の充実と経済成長の同時実現～日本の例を参考にして～」というセミナーを開催しました。この行事は、日モンゴル国交樹立 45 周年記念事業としても在モンゴル日本大使館から認定されています。モンゴルの国民に対して、日本の経済発展において社会保険が果たした役割についてお伝えしました。また、貯蓄や保険の違いについての説明をし、モンゴルも将来確実に高齢化が進むことを踏まえて何をすべきか参加者の方々と意見交換を行いました。モンゴル日本人材開発センターの皆さまに改めて感謝を申し上げますととも

に、今後も協力して活動を進めていきたいと考えています。



プロジェクト公式 Facebook ページもご覧ください

フェイスブックページでは、日々の活動の情報がタイムリーに発信されています。

また、専門家による社会保険に関連する記事もお読みいただけます!!



Даатгалын шимтгэлийг хэрхэн төлдөг вэ ?  
Японд 2 төрлийн тэтгэрийн даатгалын тогтолцоо байдаг.

### プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内 6 階 602 号室  
電話(FAX)番号：(+976)-11-325125



公式 Facebook アカウント：  
Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

